

効果のあった実践事例

学年 第1学年 教科等 算数科

単元・内容 「かたちづくり」

検索キーワード 色板を使って形を作る

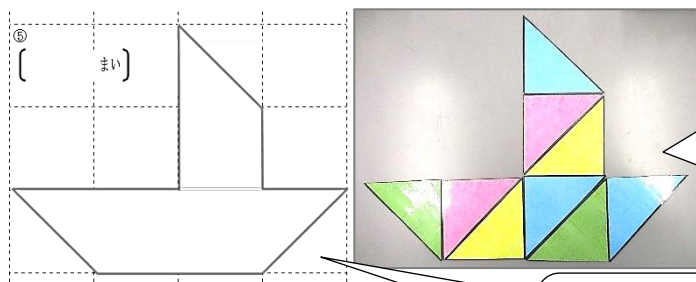
○ ねらい

- ・色板をずらしたり，回したり，ひっくり返したりして，図形を変えることができる。

○ 手立て

視覚化・操作化

- 1 色板の大きさと同じ大きさの図を描いたワークシートを用意し，ワークシートの上に色板を直接置いて，図形を作ることができるようにする。



ポイント！

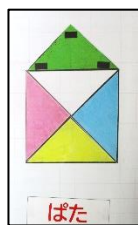
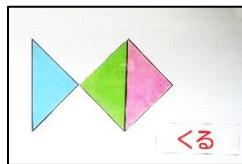
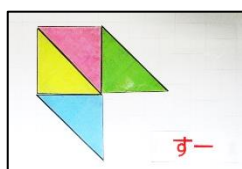
- ・黒板に手本の色板を掲示するときは，色を分けた方が図形の構成が分かりやすい。

ポイント！

- ・色板の大きさとワークシートの図の大きさを揃える。

視覚化・共有化（色画用紙で強調）

- 2 色板の動かし方に擬音（すー，くる，ぱた）を付けて，動かし方をイメージしやすくする。



ポイント！

- ・児童がイメージしやすいみんな言葉（児童と教師が一緒に考えた言葉）が分かりやすい。

色板をぱたと動かすと，家から四角に図形を変身させることができます。



○ 児童の変容

- ・色板をずらしたり，回したり，ひっくり返したりして，図形を変えることができた。また，図形の構成要素を理解することができ，三角形を使って四角形などの図形を作ることができた。